

クロス集計について（漂流・漂着ゴミアンケート追加分析）

【海岸管理者】

【１．ゴミの漂流・漂着状況】において、清潔の保持が困難と答えた管理者及び市町村で、【８．国又は都道府県からの補助金】を受けていないもののうち【１２．漂流・漂着ゴミによって生じる問題】のクロス集計

	【クロス集計 母数：３８】	【全体版 母数：５６３】
漁港（港湾）運営への支障	１１（ 28.9% ）	１４７（26.1%）
土地改良施設管理への支障	２（ 5.3% ）	５（0.9%）
海岸保全施設機能への支障	１３（ 34.2% ）	１００（17.8%）
漁港（港湾）利用者への危険	１７（ 44.7% ）	１７９（31.8%）
住民への危険	７（ 18.4% ）	２４（4.3%）
観光への悪影響	２７（ 71.1% ）	２９２（51.9%）
沿岸漁業への悪影響	２０（ 52.6% ）	２３５（41.7%）
海岸生態系への悪影響	１５（ 39.5% ）	１５０（26.6%）
景観・清潔の保持	３７（ 97.4% ）	５１６（91.7%）
その他	１（ 2.6% ）	１９（ 3.4% ）

結果：日常管理の中で清潔の保持が困難と答えた海岸管理者で、国又は都道府県からの補助金を受けていない者は、漂流・漂着ゴミによって生じる問題の各項目について問題があるとする割合が全体と比較して高い。

【１４．災害起因の大規模なゴミ漂流・漂着に対する国等からの補助金（過去３年間）】の設問のうち補助金を受けていないが、対策面で困っていないか等のクロス集計分析
過去３年間で、災害規模の大規模なゴミ漂流・漂着があった自治体 ２８７
そのうち国等からの補助金を受けなかった自治体 １９９
そのうち国等からの補助金を受けた自治体 ６９
特段の対処を行わなかった自治体 １９

【９．地方公共団体が苦慮していること】とのクロス集計

９．の設問に対しては【１．ゴミの漂流・漂着状況】で日常の管理を超えていると答えた自治体に聞いています。

	【補助金×日常管理×：母数９７】	【補助金 日常管理×：母数１６】
回収・清掃作業	６７（69.1%）	１４（ 87.5% ）
廃棄物の運搬・保管	５１（ 52.6% ）	６（37.5%）
廃棄物の処分	６０（61.9%）	１２（ 75.0% ）
その他	５（5.2%）	３（ 18.8% ）

【10．運搬・保管に苦慮している漂流・漂着ゴミ】とのクロス集計

9．の設問で 廃棄物の運搬・保管と答えた自治体に聞いています。

	【補助金×日常管理×：母数51】	【補助金 日常管理×：母数6】
ペットボトル	24 (47.1%)	3 (50.0%)
プラ類	24 (47.1%)	4 (66.7%)
ビン・缶	24 (47.1%)	3 (50.0%)
漁具類	29 (56.9%)	4 (66.7%)
医療器具	20 (39.2%)	2 (33.3%)
ポリ容器	30 (58.8%)	3 (50.0%)
流木	46 (90.2%)	6 (100%)
海藻	17 (33.3%)	2 (33.3%)
その他	7 (13.7%)	3 (50.0%)

【11．処分に苦慮している漂流・漂着ゴミ】とのクロス集計

9．の設問で 廃棄物の処分と答えた自治体に聞いています。

	【補助金×日常管理×：母数60】	【補助金 日常管理×：母数12】
ペットボトル	23 (38.3%)	6 (50.0%)
プラ類	27 (45.0%)	7 (58.3%)
ビン・缶	22 (36.7%)	6 (50.0%)
漁具類	31 (51.7%)	6 (50.0%)
医療器具	21 (35.0%)	2 (16.7%)
ポリ容器	30 (50.0%)	4 (33.3%)
流木	50 (83.3%)	10 (83.3%)
海藻	16 (26.7%)	2 (16.7%)
その他	9 (15.0%)	4 (33.3%)

結果：日常管理の範囲を超えていると回答した自治体のうち、補助金を受けた海岸管理者の数が少ないため、補助金を受けた自治体と受けていない自治体との単純な比較は困難である。

クロス集計について（漂流・漂着ゴミアンケート追加分析）

【漁港管理者】

【１．ゴミの漂流・漂着状況】において、清潔の保持が困難と答えた管理者及び市町村で、【８．国又は都道府県からの補助金】を受けていないもののうち【１２．漂流・漂着ゴミによって生じる問題】のクロス集計

	【クロス集計 母数：５】	【全体版 母数：３４９】
漁港運営への支障	３（６０．０％）	１７１（４９．０％）
漁港利用者への危険	４（８０．０％）	１６３（４６．７％）
観光への悪影響	３（６０．０％）	１２７（３６．４％）
景観・清潔の保持	５（１００％）	３００（８６．０％）
その他	１（２０．０％）	１６（４．６％）

結果：日常管理の中で清潔の保持が困難と答えた漁港管理者で、国又は都道府県からの補助金を受けていない者の数が少ないため、漂流・漂着ゴミによって生じる問題の各項目について、全体との単純な比較は困難である。

【１４．災害起因の大規模なゴミ漂流・漂着に対する国等からの補助金（過去３年間）】の設問のうち補助金を受けていないが、対策面で困っていないか等のクロス集計分析
 過去３年間で、災害規模の大規模なゴミ漂流・漂着があった自治体 ２１０
 そのうち国等からの補助金を受けなかった自治体 １８７
 そのうち国等からの補助金を受けた自治体 ２０
 特段の対処を行わなかった自治体 ３

【９．地方公共団体が苦慮していること】とのクロス集計

９．の設問に対しては【１．ゴミの漂流・漂着状況】で日常の管理を超えていると答えた自治体に聞いています。

	【補助金×日常管理×：母数５２】	【補助金 日常管理×：母数１３】
回収・清掃作業	４２（８０．８％）	１２（９２．３％）
廃棄物の運搬・保管	３１（５９．６％）	８（６１．５％）
廃棄物の処分	４０（７６．９％）	１１（８４．６％）
その他	８（１５．４％）	２（１５．４％）

【10．運搬・保管に苦慮している漂流・漂着ゴミ】とのクロス集計

9．の設問で 廃棄物の運搬・保管と答えた自治体に聞いています。

	【補助金×日常管理×：母数31】	【補助金 日常管理×：母数8】
ペットボトル	13 (41.9%)	5 (62.5%)
プラ類	15 (48.4%)	3 (37.5%)
ビン・缶	9 (29.0%)	2 (25.0%)
漁具類	18 (58.1%)	5 (62.5%)
医療器具	8 (25.8%)	2 (25.0%)
ポリ容器	17 (54.8%)	4 (50.0%)
流木	24 (77.4%)	7 (87.5%)
海藻	10 (32.3%)	3 (37.5%)
その他	7 (22.6%)	2 (25.0%)

【11．処分に苦慮している漂流・漂着ゴミ】とのクロス集計

9．の設問で 廃棄物の処分と答えた自治体に聞いています。

	【補助金×日常管理×：母数40】	【補助金 日常管理×：母数11】
ペットボトル	14 (35.0%)	7 (63.6%)
プラ類	18 (45.0%)	6 (54.5%)
ビン・缶	12 (30.0%)	5 (45.5%)
漁具類	21 (52.5%)	6 (54.5%)
医療器具	8 (20.0%)	2 (18.2%)
ポリ容器	19 (47.5%)	4 (36.4%)
流木	29 (72.5%)	9 (81.8%)
海藻	11 (27.5%)	2 (18.2%)
その他	7 (17.5%)	3 (27.3%)

結果：日常管理の範囲を超えていると回答した漁港管理者のうち、補助金を受けた自治体の数が少ないため、補助金を受けた自治体と受けていない自治体との単純な比較は困難である。

クロス集計について（漂流・漂着ゴミアンケート追加分析）

【港湾管理者】

【１．ゴミの漂流・漂着状況】において、清潔の保持が困難と答えた管理者及び市町村で、【８．国又は都道府県からの補助金】を受けていないもののうち【１２．漂流・漂着ゴミによって生じる問題】のクロス集計

	【クロス集計 母数：６】	【全体版 母数：１３０】
港湾運営への支障	２（３３．３％）	５４（４１．５％）
港湾利用者への危険	２（３３．３％）	６８（５２．３％）
観光への悪影響	４（６６．６％）	５５（４２．３％）
景観・清潔の保持	６（１００％）	１２１（９３．１％）
その他	１（１６．７％）	８（６．２％）

結果：日常管理の中で清潔の保持が困難と答えた港湾管理者で、国又は都道府県からの補助金を受けていない者の数が少ないため、漂流・漂着ゴミによって生じる問題の各項目について、全体との単純な比較は困難である。

【１４．災害起因の大規模なゴミ漂流・漂着に対する国等からの補助金（過去３年間）】の設問のうち補助金を受けていないが、対策面で困っていないか等のクロス集計分析
過去３年間で、災害規模の大規模なゴミ漂流・漂着があった自治体 ６８
そのうち国等からの補助金を受けなかった自治体 ６０
そのうち国等からの補助金を受けた自治体 ７
特段の対処を行わなかった自治体 １

【９．地方公共団体が苦慮していること】とのクロス集計

９．の設問に対しては【１．ゴミの漂流・漂着状況】で日常の管理を超えていると答えた自治体に聞いています。

	【補助金×日常管理×：母数２２】	【補助金 日常管理×：母数３】
回収・清掃作業	２１（９５．５％）	３（１００．０％）
廃棄物の運搬・保管	１９（８６．４％）	３（１００．０％）
廃棄物の処分	１８（８１．８％）	３（１００．０％）
その他	４（１８．２％）	０（０．０％）

【10．運搬・保管に苦慮している漂流・漂着ゴミ】とのクロス集計

9．の設問で 廃棄物の運搬・保管と答えた自治体に聞いています。

	【補助金×日常管理×：母数19】	【補助金 日常管理×：母数3】
ペットボトル	8 (42.1%)	2 (66.7%)
プラ類	10 (52.6%)	3 (100%)
ビン・缶	10 (52.6%)	2 (66.7%)
漁具類	11 (57.9%)	1 (33.3%)
医療器具	4 (21.1%)	1 (33.3%)
ポリ容器	10 (52.6%)	1 (33.3%)
流木	17 (89.5%)	3 (100%)
海藻	7 (36.8%)	1 (33.3%)
その他	4 (21.1%)	1 (33.3%)

【11．処分に苦慮している漂流・漂着ゴミ】とのクロス集計

9．の設問で 廃棄物の処分と答えた自治体に聞いています。

	【補助金×日常管理×：母数18】	【補助金 日常管理×：母数3】
ペットボトル	5 (27.8%)	2 (66.6%)
プラ類	8 (44.4%)	3 (100%)
ビン・缶	6 (33.3%)	2 (66.6%)
漁具類	7 (38.9%)	1 (33.3%)
医療器具	2 (11.1%)	1 (33.3%)
ポリ容器	8 (44.4%)	0 (0%)
流木	15 (83.3%)	3 (100%)
海藻	7 (38.9%)	1 (33.3%)
その他	4 (22.2%)	1 (33.3%)

結果：日常管理の範囲を超えていると回答した自治体のうち、補助金を受けた港湾管理者の数が少ないため、補助金を受けた自治体と受けていない自治体との単純な比較は困難である。

クロス集計について（漂流・漂着ゴミアンケート追加分析）

【市町村（環境部局）】

【１．ゴミの漂流・漂着状況】において、清潔の保持が困難と答えた管理者及び市町村で、【８．国又は都道府県からの補助金】を受けていないもののうち【１２．漂流・漂着ゴミによって生じる問題】のクロス集計

	【クロス集計 母数：９４】	【全体版 母数：５５６】
海岸保全施設機能への支障	２３（ 24.5% ）	９７（17.4%）
住民への危険	４１（ 43.6% ）	136（24.5%）
観光への悪影響	７５（ 79.8% ）	325（58.5%）
沿岸漁業への悪影響	６０（ 63.8% ）	258（46.4%）
海岸生態系への悪影響	５２（ 55.3% ）	171（30.8%）
景観・清潔の保持	９０（ 95.7% ）	518（93.2%）
その他	５（ 5.3% ）	26（4.7%）

結果：日常管理の中で清潔の保持が困難と答えた管理者及び市町村で、国又は都道府県からの補助金を受けていない者は、漂流・漂着ゴミによって生じる問題の各項目について問題があるとする割合が全体と比較して高い。

【１４．災害起因の大規模なゴミ漂流・漂着に対する国等からの補助金（過去３年間）】の設問のうち補助金を受けていないが、対策面で困っていないか等のクロス集計分析
 過去３年間で、災害規模の大規模なゴミ漂流・漂着があった自治体 291
 そのうち国等からの補助金を受けなかった自治体 225
 そのうち国等からの補助金を受けた自治体 39
 特段の対処を行わなかった自治体 27

【９．地方公共団体が苦慮していること】とのクロス集計

９．の設問に対しては【１．ゴミの漂流・漂着状況】で日常の管理を超えていると答えた自治体に聞いています。

	【補助金×日常管理×：母数142】	【補助金 日常管理×：母数29】
回収・清掃作業	117（82.4%）	24（ 82.8% ）
廃棄物の運搬・保管	90（ 63.4% ）	16（55.2%）
廃棄物の処分	106（74.6%）	28（ 96.6% ）
その他	13（9.2%）	3（ 10.3% ）

【10．運搬・保管に苦慮している漂流・漂着ゴミ】とのクロス集計

9．の設問で 廃棄物の運搬・保管と答えた自治体に聞いています。

	【補助金×日常管理×：母数90】	【補助金 日常管理×：母数16】
ペットボトル	23 (25.6%)	2 (12.5%)
プラ類	27 (30.0%)	4 (25.0%)
ビン・缶	24 (26.7%)	3 (18.8%)
漁具類	55 (61.1%)	7 (43.8%)
医療器具	19 (21.1%)	9 (56.3%)
ポリ容器	31 (34.4%)	9 (56.3%)
流木	76 (84.4%)	15 (93.8%)
海藻	33 (36.7%)	2 (12.5%)
その他	25 (27.8%)	4 (25.0%)

【11．処分に苦慮している漂流・漂着ゴミ】とのクロス集計

9．の設問で 廃棄物の処分と答えた自治体に聞いています。

	【補助金×日常管理×：母数106】	【補助金 日常管理×：母数28】
ペットボトル	18 (17.0%)	4 (14.3%)
プラ類	26 (24.5%)	10 (35.7%)
ビン・缶	21 (19.8%)	7 (25.0%)
漁具類	66 (62.3%)	13 (46.4%)
医療器具	25 (23.6%)	11 (39.3%)
ポリ容器	33 (31.1%)	8 (28.6%)
流木	85 (80.2%)	23 (82.1%)
海藻	34 (32.1%)	8 (28.6%)
その他	34 (32.1%)	8 (28.6%)

結果：日常管理の範囲を超えていると回答した自治体のうち、補助金を受けた自治体の数が少ないため、補助金を受けた自治体と受けていない自治体との単純な比較は困難である。